



Challenge

No.22

呉市立蒲刈中学校
第2学年通信
令和5年3月20日

まもなく最高学年！

先週、「最高学年になるにあたっての心構え」をテーマに帰りの会の1分間スピーチを行いました。多くの人は「受験生になるので、遊ぶ時間を学習時間に充てて頑張りたいこと」「部活動では、最上級生としてお手本が示されるようになること」を話していました。それぞれの生徒が、4月からの自分の姿を思い描き行動に結び付けようとしているのだなあと思はしく思っています。

【生活記録の記述から】

- ・今まで3年生はいろいろな行事で先頭に立ってアドバイスや指示をして下さっていたので、私も先輩達のように下級生達から慕われるような最高学年になりたいです。そして、先輩達から渡された伝統を途切れさせないようにしたいです。
- ・蒲刈で行事をする際には小・中で一緒に行うので、中学3年生は小・中での最高学年とも言えます。だからみんなのリーダーとなって、楽しく行事を行っていきたくし受験もあるので勉強を頑張っていきたいと思っています。
- ・1, 2年生のお手本となるような姿勢で、何事に対しても諦めず最後まで取り組み挑戦していきたくし受験生となるので、毎日の復習を積み重ね学習時間を少しずつ増やして勉強していきたくし。



学年通信第1号の内容を覚えていますか？【学年通信第1号より】

今年は、与えられたことに向かうのではなく、「**自らが、新しいことに果敢に挑む**」姿勢を大切にしてほしいと思っています。

「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」

○自己を**認識**する力

自分は何が好きなのか、自分はどのような人間なのか、など自分自身のことを理解することができる力

○自分の人生を**選択**する力

自分の将来の夢や目標、自分がやりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自分の意志で決めることができる力

○**表現**する力

自分自身のこと、自分の考えや思いを、相手に理解し手もらえるように工夫しながら伝えることができる力



入学者選抜制度で注目すべき点は、「自己表現」という選抜方法が導入されていることです。自分自身のこと(得意なことやこれまで取り組んできたことなど)や高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現しなければなりません。

「自己表現」をするための第一歩は「自分自身を知る」ことからです。そのためには、自分の周りのことにある様々なことを、「自分を知る、自分を成長させるチャンス」だと捉え、**果敢に Challenge** してほしいのです。最初から、苦勞せず100%できるのは稀です。「できなかったらどうしよう」ではなく、「できるようになる」ことが大切です。たくさんの経験を通して「次は、こんな風にしてみよう」という姿勢こそが大事なのだと思っています。(中略)

皆さんは1年後、どんな自分になっていたいですか。

担任としては、「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」を意識して、サポートをしてきたつもりです。みなさんは、4月に思い描いていた自分になっていますか？



失敗の数だけ，成長できる

どこかで聞いたフレーズだなと思われた方もいらっしゃるでしょう。大谷翔平選手が登場するCMの言葉です。

「三振したのは928回。打たれたヒットの数647。ホームランを59本打たれ、失点数は全部で281、チャンスに586回凡退して、二刀流が無理だと言われたことは数え切れない。でも二刀流が無理だと思ったことは1回もない。」

「二刀流」の選手として世界でその名前を轟かせ、WBCでも活躍している大谷選手。彼の人間離れした活躍ぶりを見ると、最初から全てが順風満帆にできていたのではないかと思われがちです。しかし、三振の数や打たれたヒットの数などを見ていくと最初から成果を上げていたわけではなく、大谷選手が強い信念を持ち、自分を信じて努力を重ねてこられたことがよく分かるエピソードだと思います。

「願うは叶う」と言われることがあります。確かに夢を持って願うことも大切でしょうが、願うだけで実行が伴わなければそれは夢だけに終わってしまいます。いきなり大きなことをやるよう奨励している訳ではありません。小さなことをコツコツ積み重ねることで、それがやがて大きな実を結ぶことにつながるはずですよ。

私見ですが、皆さんは「失敗は許されないこと」と自分で自分に暗示をかけているような気がしてなりません。初めから成功することは珍しいと思います。準備をしないでいきなり「やってみよう」と言っているわけではありません。何かをやるためには、ある程度の準備が必要です。でも準備をしたことがいつもいつも1回で成功すると限りません。勇気を出してやってみる。それで失敗しても落ち込む必要などないのです。失敗したのならば、それは「自分が一つ成長できた」と思って次に進めばいいだけのことです。

4月からいよいよ最上級生として蒲刈中学校をリードし、それぞれの夢の実現に向けて邁進されることを心より願っています。



保護者の皆様へ
1年間という短い期間でしたが、諸活動へのご支援、ご協力を賜りありがとうございました。

懐かしい思い出ですね。



楽しかった修学旅行！

